

## 【今後の検討事項】

(1)	教育・保育施設の確保	<p>●【地域】教育・保育ニーズと確保状況が地域やエリアによって異なることへの対応</p> <p>地域の中でも状況が異なるので、きめ細やかに対応していくことが必要</p>	
		南地域	待機児童が多く、南町田グランベリーパーク駅周辺エリアでは、今後も保育ニーズが見込まれる。
		町田地域	駅周辺の中心市街地エリアには待機児童が発生している一方で、駅から離れたエリアでは、定員に空きが生じている施設がある。
		鶴川地域	待機児童は地域内のどのエリアにも発生している。駅から離れた一部の施設では、定員に空きが生じている。
		忠生地域	待機児童はほぼ解消しており、定員に空きが生じている施設が多く、深刻な定員割れが生じている施設が複数存在する。
		堺地域	地域全体では定員に空きが生じている。一部のエリアにおいては、深刻な定員割れが生じている施設がある。
		<p>●【定員】待機児童が多く発生し、保育の受け皿が不足している地域・エリアと深刻な定員割れが生じている地域・エリアへの対応</p>	
		<ハード面>	新たな施設整備や既存施設の移転・転用等による教育・保育ニーズへの対応
		<ソフト面>	適正な定員設定による教育・保育ニーズへの対応
(2)	教育・保育の質の向上	●教育・保育の質の向上への取り組み	
		●多様な教育・保育ニーズへの対応<ハード・ソフト面>	
(3)	公立保育園の役割	●今後の公立保育園の役割	